



한청통신

韓 青 通 信

2009年5月号

今号のラインナップ：4月革命49周年記念青年学生の集い報告（＋参加者意見表明紹介）／4月革命49周年行事（ソウル）韓青代表団参加記／情勢 NEWS／支部紹介「日々是はんちゃんー桑名支部」／全国活動報告／今後の予定／編集後記

各地で吼えた！4月の若き獅子たち！



韓青は学生協とともに、近畿地協（4/12 京都）・中部地協（4/19 桑名）・関東地協（4/26 川崎）の単位で「4月革命49周年記念青年学生の集い」を開催しました。

この集いは、今年度の「民生・民主・平和・統一のための100日間運動」の一環として開催したもので、「四月革命の歴史的意義と現情勢」をテーマにした記念講演と参加者からの意見表明を中心におこなわれ、「사월의 젊은 사자들」（4月の若き獅子たち）を合唱するなど、青年らしい活気のあふれる集いとなりました。

また青年だけでなく、各地域の韓統連や韓青の先輩方からも駆けつけてくださり「青年こそが時代をきりひらく主体者であり、まさに民族の希望だ」とのあたたかい激励もいただきました。

中央本部による記念講演の内容は共通のもので、近畿地協と中部地協はムン・セヒョン委員長が、関

東地協はパク・ミョン Chol 文教部長がそれぞれ講演し、4月革命が起きるに至った情勢を解説しました。と同時に、4月革命を契機に韓青が誕生する過程を紹介しながら、「韓青の誕生そのものが、米国に追従する韓国独裁政権の支配と干渉に対する闘争の勝利」であり、「4月革命精神を継承した韓青は、4月革命が指し示した祖国の民主化・統一の実現に向けて一層の実践を果たさなければいけない」と強調しました。また、4月革命時の李承晩独裁政権と現在の李明博政権の類似性を鋭く指摘し、現政権の危険性に警鐘をならす一方、米国の覇権主義による朝鮮半島への干渉こそがそれらの根本矛盾であると指摘し、参加者たちの大きな関心を引き寄せました。

意見表明では、4月革命を学んできた参加者らの感想（次頁掲載）や決意が活発に発露されました。

集いを終えた後、各地域の特色にあわせた宣伝形式で、近畿地協は京都市内のパレードを、中部地協と関東地協は桑名駅前と川崎駅前ですамулノリなどのパフォーマンスを交えながら、李明博政権の反民主的な政策の不当性、日本政府の誤った朝鮮半島政策の是正を訴えました。

集いの後は、青年らしく交流会を盛大におこない、今後の闘いへの決意を共有しました。特に、100日間運動にまい進することと、6月14日の中央大会に一人でも多くの同胞青年を結集させることを誓い合いました。

「韓青通信」の読者なら「4月革命」のことはよくご存知でしょうが、改めて簡単に解説しますと、日本の植民地支配から解放された後に、米国が強引につくった分断国家・韓国でその庇護の下、好き放題おこなっていた時の独裁者・李承晩大統領に対して、民主化と自主的平和統一、経済の自立化を求めて立ち上がった学生を中心にした民衆たちの闘いのことを指します。その後、李承晩大統領は下野しハワイに亡命しますが、この闘争の過程で多くの若い血が流されました。民衆は、この革命を一層進めようとしますが、約1年後、米国の危機感を背景に軍事クーデターが引き起こされ、「未完の革命」となってしまいます。

このページでは「青年学生の集い」で紹介した女子中学生の「遺書」と、4月革命を学習した参加者の決意表明を紹介します。

「遺書」

陳英淑

時間がないのでオモニにお会いできないで、出かけます。最後まで、不正選挙糾弾のデモに加わってたたかいます。いま私の友だちはみな、そして大韓民国のすべての学生たちは、わが国の民主主義のために血を流しています。

オモニ、デモにでかける私を叱らないでください。私たちがでなかつたら、誰がデモをするでしょうか？私はまだ世間知らずだと思っています。しかし、国家と民族のための道がどのようなものであるかはわかっています。あの喊声がいまも聞こえてきます。

いま私の心はあまりにもせわしいのです。私の学友たちはみな、死を覚悟してでかけたのです。

私は生命をささげてたたかうつもりです。デモの途中に死んでも悔いはありません。オモニ、私を愛するお気持ちからずいぶん悲しくお思いでしょうが、すべての同胞の将来と民族の解放のために喜んでください。私の心はすでに街にとんでいています。

あまりにもあわただしいので、手が思うように動きません。どうかお体を大事にしてください。重ねて申しあげますが、私の生命はすでにささげようと決心しました。時間がないのでこれでおわりにします。

※ソウル・漢城女子中学校二年生（一四歳）の遺書。彼女は、四月一九日の夕方、バス車内で抗議の声をあげている時、警察隊に撃たれ尊い命を失いました。彼女は四・一九国立墓地に眠っています。

<「4月革命49周年記念 関東地協 青年学生の集い」 参加者意見表明紹介（抜粋）>

神奈川県本部 ホン・ヨンラン

4月革命では、学生を中心とした多くの若い血を流されました。凶弾に倒れた烈士の遺書を読んで、残されたオモニ、アボジたちの写真を見て私が感じたことは、その本人も、両親も、決していたずらに死を望んでいたわけではないだろうということです。凶弾に倒れた陳英淑さんのオモニにあてた遺書の中に「すべての同胞の未来と民族の解放のために喜んでください」という一文がありました。彼女はなぜ「死を覚悟して」闘ったのか、その意味を考えることが、私にとっての4月革命の学習となりました。

「未完の革命」といわれる4月革命は、本当の意味での民主主義、民族統一が祖国では実現されていないという現実を私たちに突きつけています。

さらに、現政権は過去の独裁政権の時代に逆行させようとしています。これは過去の民主化運動で闘った民衆たちの思いを無視した行動です。だからこそ、今私たちが一丸となり確固たる意志のもと、この弾圧を阻止していかなければなりません。

韓国の国花である無窮花（ムグンファ）は咲いては散り、散っては咲き、無窮に咲きつづける。いかなる逆境にも負けないたたかき。それが朝鮮民衆の姿であるといわれています。

過去に闘った民衆たちは未来の同胞たちのために希望を与えてくれました。現在に生きる私たち同胞青年もまた、この精神を引き継ぎ未来の同胞たちのために希望を与えなければなりません。ムグンファのように無窮に咲きつづけ、逆境にも負けない朝鮮民衆として共に歩んでいきたい。私は韓青活動する上で、その強い精神を引き継いでいきたいと思います。

国内研修に参加して

大阪府本部 キム・マギ

4月18日から20日にかけておこなわれた韓統連国内研修に、私は他の韓青・学生協のメンバーと共に代表団として参加してきた。

49年前の4月19日、李承晩政府の独裁政治や不正選挙に憤慨した民衆たちが立ち上がり、とうとう李承晩大統領を下野させた4・19革命。国内のそうした闘いは、当時の在日韓国人青年に強烈な衝撃と感動を与え、その純粋な愛国心と正義感を結集させながら、在日韓国青年同盟は誕生した。来年は4・19革命50周年、そして韓青も誕生50周年を迎える。50周年には、一人でも多くの同胞青年とともに韓青の旗を高く掲げながら4・19記念集会に参加することを念頭に、今年の代表団は位置づけられている。しかし、そんな私たちを待ち受けていたのは、李承晩政権時代と何も変わらない李明博政権の弾圧だった。2004年の故国訪問団を皮切りに、実質的な名誉回復と自由往来を勝ち取った私たちだったが、政権が変わるだけでこんなにも簡単に人権が蹂躪されるのだと驚き、怒りを感じた。

権力は民衆を管理、排除、弾圧しようとする。しかし、そうすればするほど、民衆たちは自分たちの人権を守ろうと、自分たちの社会をより良くしようと連帯し、闘争する。今回も、国内の進歩連帯の人たちが私たちを空港から歓迎してくれ、歓迎会・交流会には自主民主統一運動の先頭に立っておられる元老の先生たちや活動家たちがたくさん来てくださり、私たちを励ましてくださり、連帯の絆を深めた。一日目に予定されていた姜禎求教授の記念講演は、国家情報院（国情院）の弾圧によって聴けなくなり残念だったが、2日目の4・19記念集会では、国内の進歩的な人士たちと李明博政権に対して声を上げ、4・19革命の精神を継承しようと誓い合った。その後、写真作家の李時雨さんの素晴らしい案内で、鉄原地域や坡州・臨津閣などをフィールドワークし、平和への想い、統一への気持ちを新たにした。

今回の研修で、自主・民主・平和統一への想いはさらに強くなった。李明博政権の弾圧は裏目に出たのだ。私たちは49年前の4・19革命で闘った民衆たちと同じように弾圧を恐れず、国内の同志たちとともに今後も前進していこう。臨津江と漢江が交わる川を見ながら、祖国がまた一つになり、南北海外の同胞たちが自由に会える日が来ることを想像してみた。分断より統一、戦争より平和、独裁より民主、隷属より自主、私たちが選び、つくっていくのは前者ではなく、後者だ。私たち一人一人が歴史の主人公、社会の主人公だという気持ちを忘れず、今後も前進していきたい。

韓青大阪OB

高 銖 春

韓青神奈川OB

李 英 鎬

活動紹介

春期ウリマル開講式

韓青全国は5月1日の愛知県本部を皮切りに、5月10日に東京、5月13日にその他すべての府県本部が一齐に「ウリマル教室開講式」を開催しました。韓青全国で開催されるこの春の開講式では、ウリマル（＝韓国語）の習得に並々ならぬ意欲を燃やしている人がいると思えば、新たにウリマル講師として韓青で頑張ろうと決意してちょっと張り切りすぎてしまう人がいたり、「やはり春！そして青年！」ということで新しい参加者に密かにトキメいてしまうなど、毎回様々な話題を提供してくれます。今回の開講式にも多くの新規参加者が集まり、全国各地で盛り上がりましたので、その報告をしていきたいと思います。



開講式ではそれぞれオリエンテーションやウリマル模擬授業が行なわれたのですが、地域ごとに趣向を凝らした企画を織り交ぜて行なわれました。特徴ある企画を少し紹介すると、新参加者の緊張をほぐした東京本部の爆笑オープニング寸劇、神奈川県本部の質問集中砲火の自己紹介とフレッシュな模擬授業、三重県本部では単語ゲームでウリマルに触れ、兵庫県本部では体験授業としてウリマルネームプレート作りを行ないました。他の本部もそれぞれウリマルテストや交流企画を準備して大いに盛り上がり、新規生も既存の受講生もみんなが楽しめる内容でした。

もちろん開講式が終わった後は、みんなで交流会です。在日同胞同士で胸襟を開いて語り合う時間は、何にも代えがたいもの。自分のこと、民族のこと、たくさん話を分かち合いました。同胞青年同士が出会い、民族をふれあい、ともに楽しく学び高めあえる場所が韓青のウリマル教室です。交流の空間も大切な一部ですね。気がつけば終電ギリギリなんてことも、全国共通で気にならないんですね。

初めてにも関わらず「半年後にはバッチリ話せるようになります！」と力強く宣言する者や、「自分の言葉であるウリマルを学ぶことを通して、もっと民族的に自分らしく生きられるようになりたい」という感想が多く寄せられました。そのような声を聞いて、今回の開講式を通じて参加者自身がウリマルを学ぶことの意義を深め、各自が民族的に生きる出発点として決意を高めることができたと確信しています。

開講式は終わりましたが、まだまだ受講生は募集中です。興味のある方は全国の本部・支部をたずねてみてください。(承)

韓青東京OB

李 哲

韓青愛知OB

丁 啓 太

ウリマル雄弁大会 2009（近畿）

さる4月29日、韓青近畿地協（兵庫県本部・大阪府本部・京都府本部）は「ウリマル雄弁大会 2009」を大阪市福島区の福島区民センターにて開催しました。会場には、雄弁大会出場者と応援に駆けつけた多くの仲間たちが数多く集いました。

例年の雄弁大会では自身の思いや経験をウリマルにして発表する「雄弁の部」が一番の目玉だったのですが、それに加えて今年は新たに「物語の部」がつくられました。「物語の部」とはウリマルの童話や昔話を暗唱し、感情を豊かに表現するというものです。新設の部にもかかわらず多くの出場希望者があり、みんなが堂々とした発表をおこない、練習の成果を遺憾なく発揮していました。中には人形を使ったり、途中で歌ったりととてもユニークなものもありました。その次に行われたのは「お楽しみ企画」。今年は兵庫県本部の西神戸支部が漫画をウリマルでアフレコするという予想だになかった楽しい企画で会場を大いに盛り上げてくれました。

お次はいよいよおまちかね、「雄弁の部」です。今年は初級出場者が多く、キラリとセンスの光る堂々とした発表が目立ちました。初心者も中級者も上級者もたくさんの練習を重ね、自分の名前のことや韓青での経験など、自身の想いが存分にこめられた文をイキイキと発表していました。

最後には各本部・支部対抗の「単語の部」があり、接戦の中、韓青兵庫県本部が見事優勝を勝ち取りました。その後、審査員から出場者達への好評と賞品授与があり、参加者たちは自身のウリマル力量を大いに発揮できたことをうれしそうに表情に出していました。

雄弁大会後には交流会が催され、全員が雄弁大会の感想などを熱く語りながら、交流を楽しみました。韓青のウリマル事業が今後より一層の発展をなしていくことを確認できた、素晴らしい雄弁大会となりました。（竜）



炭火焼肉・韓国酒家 ビヤンド

<http://www.biyangdo.com> ～飛楊鳥～
〒108-0014 港区芝5-22-6 TEL 03-3453-2383
☆ご宴会・ご会合に2・3Fのお座敷をご利用ください
(各階40名様まで)

焼肉 晩 翠

ばんすい
〒108-0014 東京都港区芝5-23-10
TEL & FAX 3452-0061



情勢NEWS

＜李明博大統領による

憂うつな1ヶ月＞

日本では4月末から5月上旬にかけて、お待ちかねのゴールデンウィークでしたが、韓国では李明博大統領によって、何とも厳しい1ヶ月となってしまいました。

4月18日、4月革命49周年記念事業への参加を中心とした国内研修会に参加するため、韓統連代表団が仁川空港で入国手続きをしようとした際、孫亨根議長と一部の代表団メンバーに国家情報院が不当な押収搜索令状を突きつけ、搜索を強要するという許しがたい事態が起きました。それと時を同じくするように4月21日には、6・15宣言履行を献身的に進めてきた「南北共同宣言実践連帯」に対しても、ソウル地方裁判所が「利敵団体規定」の判決を下しました。そして5月7日には、「祖国統一汎民族連合南側本部」の事務所や幹部宅が強制搜索を受け、南側本部議長をはじめ幹部たちが拘束されました。まさに核心的な6・15宣言支持・履行勢力への狙い撃ちが続いていると言わざるを得ません。現政権の北朝鮮敵視政策が表れています。

しかし民衆の叫びは、日を追うごとに高まるばかりでした。4月30日には、ソウル駅前で龍山惨事100日汎国民追慕大会が開催され、5月1日に社会市民団体も参加したメーデーおよび汎国民大会、5月2日にはキャンドル集会1周年の集会が開催さ

れ、多数の青少年、市民、労働者が街頭で李明博政権に対する批判の声あげました。しかし李明博政権の答えは過剰鎮圧でした。メーデー前夜祭とメーデー、キャンドル集会があった4月30日～5月2日の3日間で、合計221人が連行されたのです。

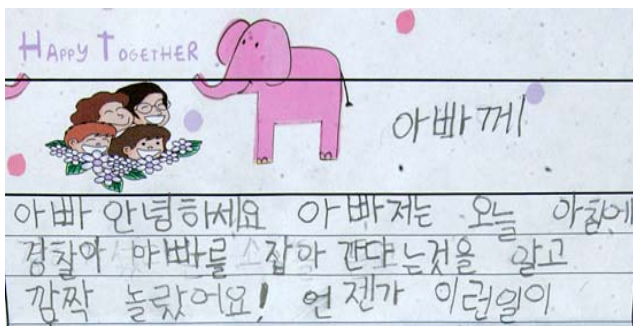
同時に、開城公団をはじめとして南北問題も完全に行き詰まり、有効な手を打てずにいます。



キャンドル1周年集会で雨の中アピールする青年たち

李明博政権発足から1年が過ぎましたが、現政権に対する民衆の中間審判が、4月29日の再・補欠選挙でした。5選挙区で行われた再補選では、全選挙区で与党・ハンナラ党候補が落選！民衆は「李明博NO!」を改めて表明したのです。

李明博大統領は、いよいよ自身の失政を認め、民族・民衆のための政治へと、大きく舵を切る時です。再補選の結果や、各界各層から湧き上がっている声に耳を傾けるべきなのです。南北問題では何よりも6・15南北共同宣言、10・4宣言の支持・履行を明らかにし、莫大な国家予算を米国企業製兵器の購入に費やさざるを得ない米国随従の姿勢などを改め、民族・民衆の平和と安定のために、何ができるかを考えるべきです。そうでなければ、さらに厳しい民衆の審判を受けることになり、民族史・民衆史に取り返しのつかない汚点を残すことになるだけです。(明)



連行された汎民連イ・ギョン화事務局長の息子さん(10)が書いた手紙

日々是はんちゃん

全国支部紹介

Vol.6 三重県本部（桑名支部）

新幹線は停まらないが、近鉄特急なら停まります。全国No. 1の田舎っぷり（自薦・他薦）を誇る、桑名支部をご紹介します。

2007年の9月から活動を再開させております。まあ、ほんとに田舎っぷりがにじみ出ている地域ですので、のんびり&ゆったりと活動を行っております。

日常的には、やはりウリマル学習会ですね。結婚で日本に渡ってこられたお姉様という強力な助っ人を配備して、勉強しております。最近ノレ指導とかやってないから、やらないといけないなあ、とつくづく感じておりますが、基本的に授業は19:30~20:30まで。しかし、講師の熱が入ってしまうと、もう一時間くらいは平気で延長します。受講生にしてみれば、まるで地獄ですね♪言葉の勉強は、難しいですけども、私たちが持つ本来の言葉ですから、楽しくやってますわ。



あとは、交流会ですね。お宅へ寄せてもらって、お食事会をしたり、夏におこなわれる桑名水郷花火大会へ行って花火を見ながら飲んで食ってしたり、みんなでいきなりボーリングに出かけたり、などなど。こういうのは、文句なしに楽しいですね。受講生の中には、お子さんを持つ人の割合が多いので、子供のための企画なんかも考えてみたいなあと思ってます。

人口もさほど多くなく、もちろん在日同胞もそれほどいませんが、楽しんでやっておりますので、ぜひ遊びにきてくださいねー。

※ 2009年5月1日より事務所の住所が変更しました。

（旧）桑名市東方 458-3 第一富士コーポ 408

（新）桑名市蓮花寺 611-108



全国に統一の風を!統一マダンを各地で開催。

韓青は、地域における統一事業として、「統一マダン」に参加しています。今年は長田（神戸）、生野（大阪）、三河島（東京）の3地域での開催となりました。

朝鮮半島の統一を願って開催されるこのマダンでは、チャンゴやチュムなど、民族文化あるれるステージ、朝鮮料理など多彩な料理が立ち並ぶ屋台はもちろん、平和と統一を志向する内容でマダン劇やアンサンブルなど、各種イベントの上演も予定されています。統一マダンで楽しいひと時をすごすと、皆の心にいつのまにか平和と統一に対する希望がふつふつと湧き、友情と連帯の輪が大きく膨らんでいきます。皆様ぜひ、ご参加ください。

【第13回統一マダン神戸】

日時-5月24日（日）11時～17時＜雨天決行＞

場所-JR新長田駅前広場（ピフレ前）／主催：統一マダン神戸実行委員会

メイン企画-クォン・ヘヒョ氏（北側オリニ栄養パン工場広報大使、俳優）トークショー、6.15 大声コンテスト

【第16回統一マダン生野】

日時-6月7日（日）正午12：00より＜雨天決行＞ 入場無料

場所-今里新地公園

メイン企画-今年は、韓国からプロの楽器隊が来日されます。

【第16回統一マダン東京】

日時-8月9日（日）正午16：30より＜雨天決行＞ 入場無料

場所-荒川区旧真土小学校

メイン企画-国内ゲスト招請中、朴保バンド演奏（予定）



昨年の統一マダン東京の様様

PICK UP!

東京で中央大会を開催

来る6月14日、東京にて韓統連、韓青、学生協、女性会主催による中央大会を開催します。反民生、反民主、反平和、反統一政策を断行し、民族を危機にさらす韓国の李明博政権に対して、全国の総力を結集して抗議の声を上げていきます。韓青は当日大会のメッセージを文化発表で伝えていきます。ぜひご参加ください。

○日時—6月14日（日）

○場所—東京 韓国 YMCA 会館 13：30～

○内容—映像＜100日間運動＞上映、文化公演、パレード、団結の集いなど。

編・集・後・記



第6号、いかがでしたか?4.19革命から49年。各地で集会を開催しましたが、あらためて4.19革命に関して学習してみると、当時の学生たちの正義感に胸打たれます。。。平和的にデモをしている学生たちに対して催涙弾を打ち込むなんて、すでに過ぎ去った軍事独裁政権での出来事だと思っていましたが・・・現在の李明博政権はそれを髣髴とさせるような非民主的な政治を横行させています。なんとかしなければ、と焼肉を食べながら(笑)強く感じた集会でした。(李)